



キム・カーペンター／クリキット・カーペンター共著

『君への誓い』

評者・水野 健(枚方コミュニティチャペル牧師／結婚カウンセラー)

●記憶は宝

2年前の春、日曜午後5時頃、妻が突然おかしなことを言い始めました。「今日は、どうしてこんな服を着ているの？ 今日は何日？ 私は何をしていたの？……」疲れがたまったせいなのか、記憶を失ってしまったのです。水分を取らせたり、横にならるように指示してもすぐに起きってきます。子どもの名前は覚えていないし、大事なことは忘れていないようでした。彼女が若年性アルツハイマーだったら、これから介護生活が始まるのか……と不安がよぎってきました。同じ質問を何度も何度も家族にしていきましたが、不思議なことに午後10時には、記憶が戻ってきました。その日の記憶だけが失われたようでした。調べると、このような一過性の記憶喪失があるようです。

それがなかったことのようになるのです。

新婚のカーペンター夫婦に起こったことは、妻のクリキットが車の事故で脳の一部が傷つき、結婚したという大切な記憶が失われたことでした。クリキットには結婚式の写真があるのに、実際に結婚したという記憶がないのです。結婚した記憶がないので、一緒にいる男性を夫と受け入れられません。記憶を失うというテーマの物語はこれまでもありました。しかし、これが実話であることが私達に感動を与えます。

●糸口はカウンセリング

二人の関係は、夫にとっては夫婦であっても、女性にとってはコーチ、父親、リハビリの指導者としか映りません。二人の関係は破局に向かっていました。夫のキムは、上司の薦めでカウンセリングを受けることになりました。このカウンセラーのアドバイスは、最も基本的で大切な結婚カウンセリングを学ぶことができる内容です。

最初の質問は、「どうしてあなたがたは結婚したのですか」から始まります。そして、次のアドバイスをします。

1. もう一度デートをして新しい思い出を作ること
2. 夫婦の関係を対等な関係に再建すること
3. もう一度結婚の誓いを新たにすること

私も、夫婦カウンセリングに來られる方と同じアドバイスをします。硬直した夫婦関係の方には、結婚前はデートをしたのですから、もう一度デートして二人が向き合う時を持つように勧めます。カウンセリングの終局には、結婚式の誓いに戻ることを勧めます。つまり、これからの人生、どうしてこの人と結婚を続けるのかをもう一度考えて再決断をすることを勧めます。

●誓いの大切さ

結婚式での誓いには意義があります。たとえこれから困難や試練があってもこの人と結婚を

続けていくという決断です。

私達の結婚生活には山あり谷ありです。決して平坦な道はありません。私たちの回りの人々は、結婚の誓いを大切にしません。困難があるとすぐに離婚の道を取ってしまいます。そのときに、結婚式での誓いに戻り、二人でもう一度努力しようとする、このことが二人の成長につながります。

妻のクリキットに誓いの記憶がないのですから、もう一度誓いをするのが結婚生活を強めることになるのです。大きな危機の中で誓いを誠実に守ろうとしたキムの行動は尊敬に値します。二人の危機を助けたこのような結婚カウンセラーが日本でも必要だと強く感じます。



『君への誓い』

著者 キム・カーペンター／クリキット・カーペンター(結婚絵美子訳)

240ページ1,365円(税込み)

いのちのことば社

*本書は、FFJでも取り扱っております。